

「岡山県教育大綱（改定素案）」に対する県民意見等の募集結果について

令和6年11月15日から令和6年12月14日までの間、「岡山県教育大綱（改定素案）」について、おかやま県民提案制度（パブリック・コメント）により、ご意見を募集したところ、次の16件が寄せられました。

これらのご意見等に対する県の考え方を掲載しておりますのでご覧ください。貴重なご意見ありがとうございました。

<寄せられたご意見等の概要と県の考え方>

大綱全般

番号	ご意見等の概要	県の考え方
1	行政から教育委員会に対して、教育界の狭い視野にとらわれず、岡山県の教育の大きな方向性を示すのであれば、知事の思いが伝わる生きた言葉で書き込むべきだ。もし、教育行政の深い知見を持つ人が書くのであれば、逆に、正確性を優先して統計的な根拠やこれまでの研究成果、特に、岡山県独自の事情や、県内の地域ごとの特性を厚く盛り込むべきであり、今の大綱の案は、どっちつかずで、教育関係者が大綱の取扱いに悩むのではないかと思う。	大綱の前文において、現行の大綱は、未来の岡山を託す子どもたちが規範意識と思いやり、郷土への愛着と誇りを持ち、たくましく成長できるよう、教育再生に向けた知事の教育への強い思いを込めたものであること、また、大綱策定後、教育を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、そうした中であっても、子どもたちが、時代を超えて変わらない価値のあるものをしっかりと身に付け、未来に向けて自己実現を果たしながら、これからの社会の創り手となることができるようにとの、改定にあたっての知事の思いを盛り込んでおります。 なお、本県教育の現状や教育の具体的な施策等については、教育委員会が現在策定を進めている、教育振興基本計画に記載することとしております。

前文

番号	ご意見等	県の考え方
2	「我が国初の庶民の学校」の表記について、初めての強調、最も早いことを伝えるには、短縮せずに「我が国最初」とする方がよいと思う。	閑谷学校は、武士の子弟向けの藩校が中心であった時代に、我が国で初めて開設された庶民に開かれた公立学校として画期的なものであることから、「我が国初」という表現を使用しております。
3	「時代を超えて」の表記について、時の連なりを表現する場合は、「時代を越えて」の方がよいと思う。	当該箇所は、中央教育審議会答申を出典として「時代を超えて変わらない価値のあるもの」という表現を使用しております。

第1 大綱の位置付け

番号	ご意見等	県の考え方
4	法令番号の記載は不要と思う。	他の法律との混同がないように、法令番号を記載しております。

第2 基本目標

番号	ご意見等	県の考え方
5	<p>「夢に向かって」という言葉を追加するより、これまでの目標の方が良いと思う。</p> <p>夢や目標を持つことは大切なことだが、それは個人の自由であり、そもそも、夢や目標は多様なもので、それが必ずしも学びの原動力になるわけではない。</p> <p>「夢育」を重視したいのならば、夢や目標を持っていないことの原因になっている問題を明らかにし、その問題を解決することが大事なのではないか。</p>	<p>本県では、就きたい仕事など遠い将来に限らず、身近にある、今はできないけど、実現したいことも夢と捉えております。子どもたちは、夢や目標を持つことで、自らの夢の実現に向け、主体的に学び、積極的に様々な経験を積む中で、今後の先を見通すことが難しい時代を生き抜いていく力を身に付けることができると考えていることから、基本目標に「夢に向かって」を掲げております。</p> <p>また、全国学力・学習状況調査等の結果分析を進めるとともに、子どもたちが夢や目標を持てるよう、分析結果も参考にしながら、PBLの推進などにより自己選択や自己決定できる場を積極的に設け、興味関心を高める取組を進めてまいります。</p>

第3 基本方針

番号	ご意見等	県の考え方
確かな学力・自ら挑戦する意欲や創造性の育成		
6	「子どもたちが自ら考え決定できる場を増やす」ことは情報の多様化するインターネット・AI時代のなかで必要なことだが、ICTを使わない、使えるときに使うことも選択肢の1つだと思う。	1人1台端末をはじめとするICTは、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実する上で基盤的なツールとして必要不可欠なものであり、ICTを活用することそのものが目的化してしまわないよう留意しながら、有効な活用を推進してまいります。
7	「DX」について、県民に広く理解していただくためには、簡単でよいので、説明が必要と思う。	「DX」という言葉は世間一般に広く浸透しており、説明は不要と考えております。
豊かな心・健やかな体の育成		
8	「豊かな心」を育むことは、思いやり、自分と異なる意見の尊重など多様性の尊重や、自然・文化を大切にするなど、さまざまなことが身につくことだと思う。道徳性や郷土愛ばかりが強調されているが、そればかりではないはずだ。	学校の教育活動全体を通じて、様々な体験活動を交えながら、社会性や規範意識、思いやり、自尊感情など豊かな心を育ててまいります。
グローバル人材の育成		
9	「県内の大学や専門学校など高等教育機関」の「など」の次に「の」を加える方がよい印象。	「大学」や「専門学校」は、高等教育機関の修飾語というよりは、例示として記載しているため、「など」としております。
生涯学習環境の整備、文化・スポーツの振興		
10	部活動の地域移行を進めていくうえで、地域でのスポーツや文化活動ができる場を作ることが重要だと思う。生涯にわたる活動のほか、多様な世代の交流ができ共助の精神をはぐくめる。	学校部活動の地域移行の受皿となる地域クラブ活動は、生涯にわたる活動や多様な世代の交流ができる場でもあることから、その充実に向けた取組を進めてまいります。

1 1	生涯学習環境の整備、文化・スポーツの振興を推進するためにも地域のスポーツ指導できる方を確保し、部活動指導員として雇用することが大事であり、そうすることで、指導力向上や受け皿確保につながると思う。	部活動指導員は、学校の部活動において、校長の監督を受け、技術的な指導に従事する非常勤の公務員です。 このため、部活動指導員として、地域クラブ活動を指導することはできないことから、指導員が地域クラブ活動の指導を希望する場合は、個人として指導を行うこととなります。 今後、地域移行が進む中、このようなケースも考えられるため、県主催の研修会への参加などを働きかけるなど、指導者の資質向上に努めてまいります。
1 2	「すべての県民」の表記は、「全ての県民」にする方がよいと思う。	晴れの国おかやま生き生きプランの表記とそろえ、ひらがなとしております。
教育効果を高める基盤や体制の整備・充実		
1 3	DX化のためにも予算確保やICT支援員の拡充が必要だ。今でも、他地域にはある校務負担を減らすソフトが入っていなかったり、担当が遅くまで残って端末設定をしたりしている。県内での統一や積極的な支援指導をお願いする。	ICT支援員の配置拡大に向けた地方財政措置のさらなる充実やGIGAスクール構想を推進するための継続的かつ十分な財政措置を行うよう、国に対して提案を行っているところであり、引き続き、学校ICT環境の整備推進等に努めてまいります。
1 4	「効果的な教育活動」とは何か。子どもたちが豊かに学んだり育ていくために、働き方改革を進めるのではないか。本来の順番が違う。	働き方改革により、教員が教員でなければできない業務に集中し、生き生きとした効果的な教育活動を行うことができる環境を整備することで、教育を受ける子どもたちの豊かな成長につなげてまいります。
1 5	教育体制整備に県立中等教育学校も加え、また、市町村立の小中高の存在を気に留めてほしい。「県立高等学校」とするより「学校」とする方がふさわしいと思う。	設置者としての高等学校教育に関する施策の内容を「県立高等学校の教育体制の整備」と表現しております。

<p>16</p>	<p>私立学校についても記載があるのはよいが、建学の精神をたたえるのはどうかと思う。公教育とどうバランスをとるのか。</p>	<p>私立学校も公教育の一翼を担っており、国公立の学校と同様のカリキュラムを科せられております。一方で私立学校は、私人の寄附財産等によって設立・運営されていることから、自主性を尊重すべきという原則があります。</p> <p>こうしたことから、私立学校法では私立学校の公共性を高め、公教育とのバランスをとるために、学校法人という特別の法人制度を創設し、組織、運営に一定の法的規制が加えられております。</p>
-----------	----------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------